



北海道議会議員

ひろみつ

たけだ浩光 道政通信



住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!

北海道議会 第2回定例会報告

この度の北海道議会議員札幌市西区選挙区におきまして、初当選をさせていただき、北海道議会第2回定例会では、予算特別委員会を担当しました。

長年勤務してきた札幌医科大学附属病院を退職して以来、地域を回り多くの声を聞きました。その声を道政に届けるため、全力で取り組みます。



地域医療の再生、医師確保

予算特別委員会の第1分科会において、保健福祉部と総務部に対して質問を行いました。

全国的な人口減少時代を迎え、その進行と影響を緩和するために、鈴木新知事は、「若者の地域への定着に向けた取組を進めるとともに、企業と移住希望者のマッチングや創業支援など、東京圏からのU・I・Jターンの促進や若年層を中心とした交流の場づくりに取り組み、移住・定住の一層の推進を図る」と言っています。

私は、医療界出身の道議会議員として、移住・定住を志す若い世代、特に子育て世代にとって医療環境が整備されることが重要であるとの観点から質問をいたしました。

広域・分散型の北海道において、地域医療の再生、確保は地方の人口流出を止める上で非常に重要な問題です。そのためには医師、看護師などの医療従事者の確保が急務であります。これまで、実効の上がらなかった、医師確保計画の是非を質したところ、道は「今年度中に新たな計画を策定する」との回答を引き出しました。

今後も、住みやすい「西区」「北海道」を目指して、活動して参ります。



北海道新聞
二〇一九年七月六日 朝刊

医師確保計画年度内に 道、地域偏在解消狙う

道は人口の道議会議員選挙特別委員会、地域ごとに必要とする医師数や医師確保計画などをまとめた「医師確保計画」を今年度中に策定する方針を明らかにした。今年度中に医師の地域偏在を解消したい考えだ。厚生労働省の指針によると、道は人口減少による医師不足の解消に力を入れる。道は「人口減少に伴って医師が十分に足りていないのは「上川中部」と「札幌」だけで、都市部には偏在している。

医師確保計画では、厚生労働省の指針に基づいて将来の医師数の目標を設定して、その後は3年ごとに内容を見直す。

道の橋本副知事兼保健福祉部長は「医科大学と医師会、市町村と連携し、医師の地域偏在の解消に向けて実効性のある対策に取り組む」と述べた。

自由党・道民会議の橋本副知事（副知事選）と民主進歩党の武田啓祐氏（札幌市選）への取材。
（竹中浩治）

道政に邁進

会 派 一 期 生



道議会議員（第31期）は、全員で100名。私の所属する会派「民主・道民連合」は27人中9人が1期生（初当選）とフレッシュな構成となっています。新たな体制で、皆さんの声を、思いを実現する道政に邁進してまいります。

所属委員会決定!

常任委員会：保健福祉委員会

特別委員会：少子・高齢社会対策委員会

第1回目の保健福祉委員会では、昨年の胆振東部地震における、病院アンケートが議題として出されていたため、その内容について質疑を行いました。

災害拠点病院に指定されているにもかかわらず、BCP（事業継続計画）が策定されていない病院が2病院あり、道としての対応の不備を指摘し、早急に改善するよう申し入れました。

少子・高齢社会対策委員会では、札幌市での児童虐待の事件に鑑み、道の児童相談所体制について問いただしました。子どもたちの健やかな成長のための、セーフティネットの重要性、必要性を委員会の中で情報共有いたしました。



ただだ浩光プロフィール

【すまい】 西区西野（在47年）

- 1960年 江別市生まれ
その後、すぐ札幌へ
- 1973年 札幌市立二十四軒小学校 卒業
- 1976年 札幌市立手稲東中学校 卒業
- 1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
- 1980年 北海道大学水産学部 中退
- 1985年 北海道大学医学部附属
診療放射線技師学校 卒業
- 1985年 札幌医科大学附属病院勤務
- 2019年 北海道議会議員 初当選

ただだ浩光政務事務所

〒063-0003

西区山の手3条1丁目3-1林ビル2階

TEL:(011)624-8030

FAX:(011)624-8031

e-mail: info@takeda-hiromitsu.com

